

第63期

# 株主通信

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(証券コード：7896)



## ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第63期事業年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化や世界的な資源価格の高騰などを背景に厳しい経営環境で推移いたしました。当社が属する住宅業界におきましても、「ウッドショック」と呼ばれる世界的な木材資源の需給バランスの不均衡を背景とした資材価格の高騰及び供給体制に混乱により、極めて舵取りが難しい局面が続きました。

こうした経営環境のなか、特に木構造建材事業における、総合プレカット事業強化の取り組みや非住宅分野への事業領域の拡大等が奏功し、増収増益の結果となりましたことをご報告申し上げます。

今後、ウクライナ情勢による世界情勢の不安定感に加え、円安の進行も背景に極めて不透明な経営環境が予測されますが、これまで以上に従業員一人ひとりの新たな発想とプロアクティブな活動により更なる進化を図ると共に、「セブン工業ブランドの浸透」および「生産性の向上」に資する施策を講じてまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

代表取締役社長 木下浩一

## 会社の現況に関する事項 (1) 事業の経過および成果

当事業年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化を背景に、ワクチン接種の普及など感染対策の広がりから、徐々に経済活動が正常化に向かう動きも見られました。しかし、世界的な原油価格の高騰を始めとした資源価格の値上がりが進んでいるなか、2月に勃発したロシアのウクライナ侵攻によって、資源価格の高騰に拍車をかけるとともに世界情勢の不安感の高まりが経済活動にも深刻な影響を及ぼす状況となっております。

当社が属する住宅業界におきましては新設住宅着工戸数の回復に伴い、前年同月比を上回る状況が続くなど、市況は堅調に推移いたしました。しかし、「ウッドショック」と呼ばれる世界的な木材資源の需給バランスの不均衡を背景とした資材価格の高騰及び供給体制に混乱が生じており、厳しい経営環境下で推移いたしました。

当事業年度、当社においては会社設立60周年を迎えたことから、改めて設立時の原点に立ち返り、社是の理念の一つである「全員がプロになろう ~Be Professional!~」をスローガンに掲げ、従業員一人ひとりが、この

理念を共有し業務・製品に対する付加価値を追求するとともに収益力とブランド力の向上に取り組んでまいりました。

内装建材事業においては、顧客ニーズに即したきめ細やかな営業展開に努めるとともに既存製品の更なる省施工化の推進（エコプレ階段）や機能性を活かした商品群の展開（ユニット階段、Sシリーズ等）、これら商品を主軸とした需要深耕及び顧客開拓を進めてまいりました。住宅のトレンドの変化に伴い和風造作等化粧貼り関連商品が低迷した一方、事業領域の拡大を狙う非住宅分野へのアイテムの拡充及び拡販に努めるとともに特注対応力を発揮したカウンターを中心に、受注は底堅く推移し、販売は堅調に推移いたしました。

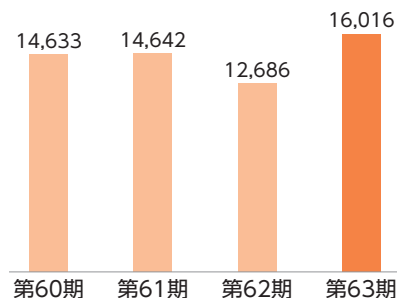
しかし、木材資源の価格高騰により原価上昇が進み、収益性の観点において課題を残す厳しい結果となりました。

木構造建材事業においては、かねてから強化・推進しているプレカット、パネル、建築の三位一体の事業戦略を進めるなか、特に非住宅分野への取り組みは、その成果が如実に表れ事業部門の成長戦略として確固たる道筋を付けることができました。その他、収益力強化に資するポートフォリオの構築等が奏功し、安定した受注と収益性改善により、いずれの事業も好調に推移いたしました。尚、ウッドショックを背景とした資材価格高騰並びに調達面の混乱等、極めて舵取りが難しい局面にありましたが、前述した事業戦略を進める

### 売上高

160億16百万円  
(前事業年度は126億86百万円)

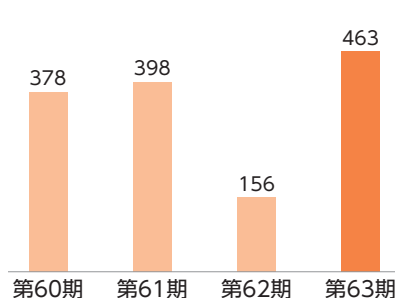
(単位：百万円)



### 営業利益

4億63百万円  
(前事業年度は1億56百万円)

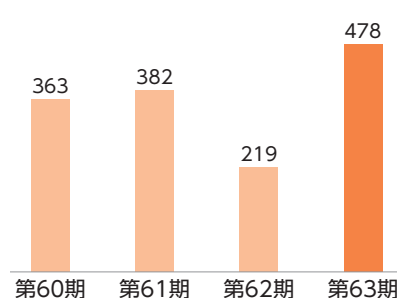
(単位：百万円)



### 経常利益

4億78百万円  
(前事業年度は2億19百万円)

(単位：百万円)



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当事業年度の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前期増減率は記載しておりません。

# 営業の概況

ための柔軟かつ効率的な生産体制及び資材調達体制の構築を図るなど独自の強みを発揮してきたことにより、堅調な事業運営で推移いたしました。

会社設立60周年を迎えたこともあり、改めて企業ブランドの構築を進める一環として、ホームページの全面リニューアルを行うと同時にコーポレートスローガンの設定など企業理念の体系を整理し、社内に対する周知・啓蒙を図ってきました。また、SDGs宣言を行うなど、現代に生きる企業としての在り方を模索し、かかる施策を推進してまいりました。

これらの結果、当事業年度の売上高は、160億16百万円（前事業年度は126億86百万円）、営業利益は4億63百万円（前事業年度は1億56

百万円）、経常利益は4億78百万円（前事業年度は2億19百万円）、当期純利益は当社子会社であったSEVEN GUAM CO.,LTD.の清算が終了したことに伴う子会社清算益49百万円を加え、3億61百万円（前事業年度は2億75百万円）となりました。

剰余金の配当につきましては、当事業年度の業績、財務状況など総合的に勘案し、1株につき10円（前期期末と比較し3円の増配）の期末配当とさせていただきます。

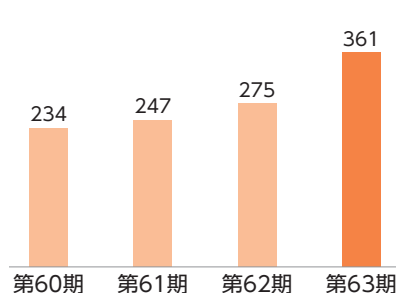
## (2) 対処すべき課題

今後の経済の見通しについては、ロシアのウクライナ侵攻による世界情勢の不安定感が国内経済にも深刻な影響を及ぼし、円安の進

### 当期純利益

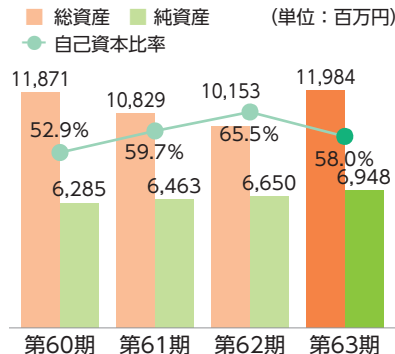
3億61百万円  
(前事業年度は2億75百万円)

(単位：百万円)



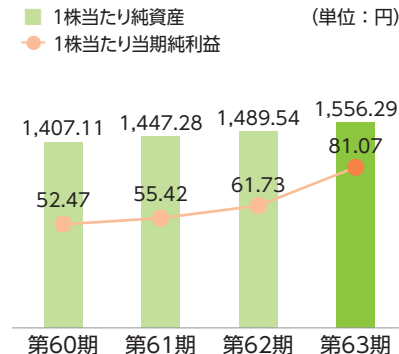
### 総資産／純資産／自己資本比率

(単位：百万円)



### 1株当たり純資産／1株当たり当期純利益

(単位：円)



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当事業年度の期首から適用しており、2022年3月期の数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前期増減率は記載していません。

※2020年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。第60期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産及び1株当たり当期純利益を算定しております。

行も背景にあらゆる資源価格の上昇や資源の調達にかかるリスク等極めて不透明な経営環境が予測されます。また、新型コロナウイルス感染の収束時期も見通せず、先行きは一層の不透明感が増すことが予想されます。

当社が属する住宅業界におきましても、昨年から続く、「ウッドショック」と呼ばれる、木材資源の価格高騰及び調達リスクについても、ロシアのウクライナ侵攻を発端とした世界情勢の不安定感の高まりから海外の木材市場の混乱に拍車をかけ、加えて円安の進行も背景に海外資材の調達コストの更なる高騰及び調達不安も懸念されます。

このような厳しい経営環境のなか、前事業年度以上に社員一人ひとりのプロフェッショナルとしての意識、行動が要求されることから、前事業年度のスローガンを踏襲し、「Be Professional II」を掲げ、更なるプロアクティブの進化を図り、困難な局面を打破する施策を講じてまいります。

内装建材事業においては前事業年度、原価上昇に伴い収益面で課題を残す内容となりました。早急に収益性改善を進めるとともに海外からの資材調達の混乱を背景とした生産性悪化の改善に向け、体制の見直しやDXの推進を含めた合理化を進めてまいります。このような課題を残した一方、資材調達等におけ

る困難な局面のなか、安定供給や品質面において市場からの信頼を得ていることが受注獲得に繋がっていると認識し、引き続き、きめ細やかな顧客ニーズの対応や更なる品質力強化に加え、省施工・機能性商品の拡充、加工・塗装技術をコアとした商品力の強化、非住宅分野への領域拡大等に努めてまいります。

木構造建材事業においては、事業部の成長戦略として非住宅分野の拡充が確固たる位置付けになっていることから、領域拡大に資する更なる営業力強化と、それを裏付ける加工能力の向上及び生産体制の増強、更には戦略的なアライアンスを構築してまいります。当事業年度もウッドショックを背景に難しい舵取りが予想されるなか、資材供給体制等における独自のネットワークを駆使するとともに三位一体の事業シナジーを発揮し、コスト競争力の強化と品質の安定性を確保し、受注拡大に繋げてまいります。また、新商品であるサッシ付パネルの拡販に向け、見学会等を通じて施工実績のPRに努めるなど、新たな施策を投下し市場における存在感の向上とセブン工業ブランドの浸透に傾注いたします。

株主の皆様におかれましては今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当事業年度 (2022年3月31日)	前事業年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	7,727	5,813
固定資産	4,257	4,340
有形固定資産	3,926	3,964
無形固定資産	74	89
投資その他の資産	256	286
<b>資産合計</b>	<b>11,984</b>	<b>10,153</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	4,322	2,766
固定負債	713	736
<b>負債合計</b>	<b>5,035</b>	<b>3,503</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	6,948	6,650
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,675	2,675
利益剰余金	2,043	1,745
自己株式	△244	△244
評価・換算差額等	0	0
その他有価証券評価差額金	0	0
<b>純資産合計</b>	<b>6,948</b>	<b>6,650</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>11,984</b>	<b>10,153</b>

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当事業年度の期首から適用しております。

## 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当事業年度 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)	前事業年度 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
売上高	16,016	12,686
売上原価	13,469	10,588
売上総利益	2,546	2,097
販売費及び一般管理費	2,083	1,940
営業利益	463	156
営業外収益	22	82
営業外費用	6	19
経常利益	478	219
特別利益	50	5
特別損失	4	3
税引前当期純利益	524	222
法人税、住民税及び事業税	169	42
法人税等調整額	△6	△95
<b>当期純利益</b>	<b>361</b>	<b>275</b>

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当事業年度の期首から適用しております。

### ■ セグメント別品目構成

#### 内装建材事業

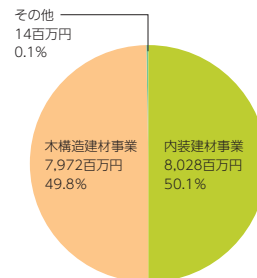
内装部材  
(階段・手摺・カウンター)  
(和風造作材・框・洋風造作材)

#### 木構造建材事業

構造部材  
(プレカット加工材・住宅パネル)  
施設建築・建方請負

#### その他

賃貸事業 (不動産の賃貸管理)





## Topics 1. ホームページ全面リニューアル

今年1月に当社ホームページをリニューアルいたしました。

今回のリニューアルでは、会社概要や企業理念をはじめ、製品紹介、IR、リクルートなど情報をより充実させ、皆様にわかりやすく使いやすいホームページとなるよう、ページ構成やデザインに工夫を重ねました。

トップページで最初に目に入る「伝えたい 届けたい WOOD IDEA」は、当社のコーポレートスローガンです。企業ブランドの構築を進めるとともに、当社が目指す姿の周知・浸透を図る「合言葉」としてこのフレーズを掲げました。

### ■ トップページ



### ■ 理念体系



セブン工業  
ホームページ



セブン工業 検索  
<https://www.seven-gr.co.jp/>

今後もSDGsを含めた様々なコンテンツの充実を図り、皆様のお役に立てるホームページを目指して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## Topics 2. SDGs 宣言

当社は、「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成に向けた取り組みを強化するため、このたび「SDGs宣言」を行いました。

宣言の公表により、組織全体で共通認識を持ち、その解決に向けた具体的な取り組みと、SDGsをあらゆるステークホルダーに広げ、持続可能な社会の実現に向けた活動を実践していきます。



『木』を通じて人の暮らしも、  
自然環境も、豊かにしたい  
セブン工業は、企業活動を通じて  
SDGsに取り組めます

### ■ ESGの取り組みによるSDGsへの貢献

	分野	テーマ
Environment 環境	7 再生可能エネルギー 11 持続可能な消費と生産 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動 15 陸の生態系	環境方針の策定・表明 温室効果ガス削減への貢献 資源循環型社会実現への取り組み (森林、林業、木材産業) 環境負荷低減への取り組み
	3 健全な経済 4 質の高い雇用 5 ジェンダー平等 8 持続可能な成長 10 公平な社会 11 持続可能な住居とコミュニティ 12 持続可能な消費と生産 15 陸の生態系 17 持続可能なパートナーシップ	地域や社会の問題への貢献 地域との共生への取り組み 建築業の職人高齢化問題、労働力不足の解消への貢献 健康や安心・安全への取り組み
Social 社会		従業員・労働環境への配慮 働きやすい職場づくり 人材育成、多様性への取り組み
Governance ガバナンス	12 持続可能な消費と生産 16 平和と公正	企業価値の向上 ガバナンス強化 リスクマネジメント・コンプライアンス

## TBS日曜劇場に美術協力させていただきました



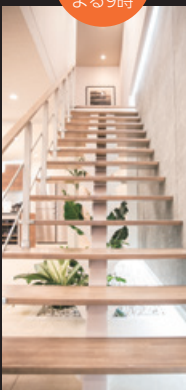
日曜劇場  
**マイファミリー**  
*My Family*

TBS  
日曜  
よる9時

今年4月から6月にかけてTBSで放映された、日曜劇場「マイファミリー」の撮影セットに美術協力させていただきました。



ドラマのメイン舞台となるオシャレな自宅に、一本桁デザイン階段「ONEBEAM (ワンビーム)」と、『スチール製オープン手摺ユニット シンプルタイプ』を採用いただきました。



## ホームページおよび Instagramのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、事業活動やその動向を紹介しております。当社をよりご理解いただくためにも是非アクセスしてください。また、Instagramを通じて多くの方々へ当社の魅力を知っていただきたく、当社情報（製品・サービスや施工事例、行事・イベントなど、事業活動の全般）を積極的にお届けしております。ぜひ、フォローをお願いします。



Instagram



セブン工業

<https://www.seven-gr.co.jp/>

検索

■ 本 社 〒505-0016  
岐阜県美濃加茂市牧野1006番地  
電話 (0574) 28-7800 (代表)

## 株 主 メ モ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日

期末配当 毎年3月31日

中間配当 毎年9月30日

そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 名古屋市中区栄三丁目15番33号

事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(インターネット) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/>  
ホームページURL) [agency/](https://www.smtb.jp/personal/procedure/)

## 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

上場証券取引所 東京証券取引所・名古屋証券取引所

公告の方法 電子公告により行う

公告掲載URL

<https://www.pronexus.co.jp/koukoku/7896/7896.html>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

UD  
FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

